

## 衆院選に向け、「市民と野党の共闘」深化へ 市民連合が第3回全国市民意見交換会

安法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）と総がかり行動実行委員会は26日、市民と野党の共闘を深化させ、衆院選にむけた戦略をつくりあげようと、東京都内で第3回全国市民意見交換会を開催しました。全国から約200人が参加しました。

開会あいさつした総がかり行動実行委の高田健氏は、「安倍政権に対抗する力強い勢力を私たちがつくりだすかどうかだ」と強調。参院選で32ある1人区で候補者の一本化をつくりあげてきたとのべ、「衆院選295の小選挙区でどう前進を勝ち取るのか、立憲4野党プラス市民の構図を全国につくりだし、安倍内閣の悪政を阻止しよう」とよびかけました。

立憲デモクラシーの会の山口二郎氏（法政大学教授）が選挙戦の総括を報告。「米国大統領選の結果や、都知事選以降の小池知事の勢いなどを見ると、立憲野党が早く再配分も含む幾つかの共通政策を、市民も関わって確立する必要がある」と語りました。

各地域からの報告で、「戦争させない市民の風・北海道」の代表は、北海道5区補選では地元で政党と市民も入った協議を進めたことで野党共闘が進んだと報告し、衆院選の小選挙区ごとに選挙母体をつくる重要性を強調しました。「TeNネットワーク2016」（東京）の代表は、市民と野党をつなぐ市民の会の結成にむけた議論をすすめていると語りました。



「市民連合みえ」の代表は「衆院選に向けて、小選挙区単位で市民の器になる場所をつくるべく動いている」と語り、また「新潟に新しいリーダーを誕生させる会」「自治体議員立憲ネットワーク」の各代表も野党との共闘の発展をめざす地域からの取り組みや、今後の課題などについて報告しました。

「安全保障関連法に反対する学者の会」の中野晃一（上智大学教授）氏は、「この間のたたかいは無駄ではないし、いろんな基盤ができていところもある。今日、ここにいない人たちも巻き込んでいけるように言葉、見せ方、伝え方を工夫できるように、情報を交換していきたい」と語りました。

## 「野党一本化で与党2/3割れ、59区『逆転』」 — 「読売」

27日付読売新聞は、「野党一本化 与党2/3割れも 59選挙区『逆転』 14年衆院選で本社試算」と報じました。記事では、「読売新聞社が2014年衆院選の全295小選挙区で野党4党が候補者を一本化した場合の当落を試算したところ、最大で60近くの『逆転選挙区』が生じる可能性があることが分かった」としています。すでに、様々な研究者・政党等が「60」という数字をあげていましたが、読売新聞がそれを裏付ける形です。試算の結果を次のように示しています。

自民、公明両党が小選挙区で計47議席減らす。14年衆院選で当時の「維新の党」から出馬した民進党の現職議員や候補予定者を野党票に加えると、逆転選挙区はさらに12増え、59となる。与党は14年衆院選挙で326議席（小選挙区232、比例選94、追加公認含む）を獲得したが、試算では憲法改正発議に必要な定数の3分2（317）を割り込む267議席となった。

野党4党は104議席から163と大幅に議席を増やす。

さらに「候補者一本化で野党が逆転勝利する59選挙区」を具体的に示しています。たとえば、北海道6区で逆転するとして、さらに同2区、3区、4区、7区、9区も同様としています。

そして、民進党の野田幹事長が26日に山形県酒田市で「次期衆院選までに全部仕上げていきたい」と記者会見で語ったことなど、現段階での野党共闘の進捗状況を報道。

読売新聞が、全295小選挙区で野党4党が候補者を一本化した場合は、与党は「憲法改正の発議に必要な3分の2を割り込む」と報じているのですから、ここは何としても、市民の共同を強め、市民と野党の共同を深化させ、第3回全国市民意見交換会で話し合われたように、「小選挙区単位

で市民の器になる場所をつくる」「共闘の発展をめざす地域からの取り組み」を推進し、市民の力で野党共闘を全小選挙区で実現させ、戦争法を廃止させる政治の実現が求められています。

## 各地のとらえかた

### 京都 憲法会議等が「憲法記念、秋のつどい」を開催！

「憲法記念、秋のつどい」が20日、京都市中央区の京都弁護士会館で開催されました。京都憲法会議、自由法曹団京都支部、憲法を守る婦人の会の共催。

京都大学の佐藤卓己教授が「世論民主主義とメディアの自由」と題して講演しました。佐藤氏は長期政権下で日本の自由度が下がる理由について、権力による圧力だけでなく、報道側の内部的な自己規制が大きく影響していると指摘。世論調査報道では、内閣への好感度を数値化した内閣支持率の報道よりも、政治課題についての意見の変化をとらえることが重要であり、「内閣支持率が上昇傾向のときにも批判を継続できるかが問題」と述べました。

また、佐藤氏は責任ある公的な意見の「輿論」と大衆的な「声の表出」の「世論」の違いを説明し、「メディアには、無責任な空気か、責任ある違憲か、絶えず自問する複眼的思考が求められる」と強調しました。

立命館大学の多田一路教授が、参院選、「駆けつけ警護」、憲法審査会、日米関係について報告しました。京都新聞労組、LDA京都がリレートークを行いました。



### 東京大田区 大田革新懇 10 団体 35 人で 20 日宣伝行動

東京都大田区の大田革新懇は、自衛隊が戦争法に基づいて駆けつけ警護などの新任務を付与されて初めて南スーダンに派兵された20日、JR蒲田駅西口で「自衛隊を南スーダンに送るな！沖縄への基地押し付け撤回を！」と、署名・宣伝行動に取り組みました。10団体35人が参加し、140人分の署名が集まりました。

労組や業者団体などの役員、宗教者、日本共産党区議団が、「南スーダンは和平合意もPKO5原則も崩壊している」「日本を戦争する国にする安保法制は廃止しかない」「殺す殺されることも絶対反対」「沖縄県民の度重なる意思表示を踏みにじる新基地建設の強行は許されない」と力強く訴えました。

署名に応じた人からは、「憲法違反の海外派兵は許せない。安倍政権は怖い」「太平洋戦争で、兄が魚雷艇で戦死した。戦争は絶対だめ」「沖縄県民の意思を踏みにじる安倍首相のやり方に怒りを覚える。許せない」などの声が寄せられました。



### 滋賀 自衛隊員に『殺し殺される』関係をつくらせることは許されない！

21日夕方、憲法を守る滋賀共同センターは草津市のJR南草津駅前前で宣伝し、戦争法廃止を訴えました。自由法曹団や県労連、平和委員会、日本共産党など10人が「南スーダン派兵NO！自衛隊を戦地に送るな！」と書いたビラを配布しました。

マイクを握った玉城昌代代表は「憲法違反の法律に基づいて、自衛隊員に『殺し殺される』関係をつくらせることは断じて許されない」と訴えました。

ビラを受け取った50代の女性は「支持しています。頑張ってください」と話しました。

## 当面の集会・行動のご案内—広げよう市民の共同

### 戦争法違憲国賠／差止訴訟 第2回口頭弁論／報告集会

- 国賠訴訟 12月2日（金）10:30 東京地裁、報告集会 13時～参院議員会館 101 会議室
- 差止訴訟 12月21日（水）10:30 東京地裁、報告集会

### 秘密保護法 12月6日を忘れない国会議員会館前行動

- 日時 12月6日（火）12:00～13:00
- 会場 衆院第2議員会館前
- 市民の発言／政党からの報告・発言
- 主催 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

## 秘密保護法強行採決から3年 共謀罪の国会上程を許さない！市民の集い

- 日時 12月6日(火) 18:45～
- 会場 文京区民センター3A
- プログラム ・講演 「共謀罪新設を進めるのは誰か」平岡秀夫元法相(民主党)・弁護士  
・対談 平岡秀夫さん×海渡雄一さん「共謀罪、秘密保護法、盗聴法で進む日本の監視社会」
- 主催 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

## DVD「高江一森が泣いている」上映会&スピーチ

- スピーチ 毛利孝雄さん(沖縄大学地域研究所特別研究員)  
元山仁士郎(元SEALDs 琉球、高江のヘリパッド建設に反対する若者有志の会)
- DVD 上映時間は約60分
- 日時 12月7日(水) 18:30～
- 会場 文京区民センター3A
- 参加費 800円
- 主催 解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会



## 監視社会を考える連続学習会 第2回GPS捜査と名古屋高裁判決

- 日時 12月8日(木) 18:45～
- 会場 文京区民センター2A
- プログラム ・講演 佐竹靖紀弁護士  
・報告 白石 孝「韓国版盗聴法の実態」
- 共催 盗聴法廃止ネット／共通番号いらぬネット／「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

## 12月の「9の日」宣伝—東京と全国各地

- 日時・会場=12月9日(金) 12:00～
- 新宿駅西口
- 共催 憲法共同センター／東京憲法共同センター

## 高江オスプレイ・パッド、辺野古新基地の建設は許さない！東京集会—沖縄連帯行動

- 日時 12月10日(土) 13:30～
- 会場 日比谷野外音楽堂・銀座デモ
- 共催 基地の県内移設に反対する県民会議／「止めよう！辺野古埋立」国会包囲実行委員会／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

## 安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は戦地に行くな！12・19国会議員会館前行動(仮称)

- 日時 12月19日(月) 18:30～19:30
- 会場 衆院第2議員会館前～国会図書館前
- 主催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

## 市民連合 衆院選挙をどう戦うか～立憲政治の再生を～

- 日時 12月21日(水) 18:30～21:00
- 会場 北とぴあ・さくらホール
- プログラム ・基調講演 石川健治(東京大学教授 憲法学)  
・パネルディスカッション 大沢真理(東京大学教授)／山田厚史(ジャーナリスト)／諏訪原健(学生)／山口二郎(法政大学教授)  
・立憲野党からあいさつ

- ◆憲法共同センター第31回運営委員会 12月12日(月) 15:00～
- ◆2017年5・3憲法集会第2回実行委員会 12月14日(水) 18:30～
- ◆「秘密保護法」廃止へ！実行委員会 12月14日(水) 18:30～
- ◆戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会第33回会議 12月22日(木) 18:30～
- ◆解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会第29回会議 17年1月10日(火) 18:30～